

まちづくりの基本理念、私たちが目指すまち

1. まちづくりの基本理念

■ 基本理念

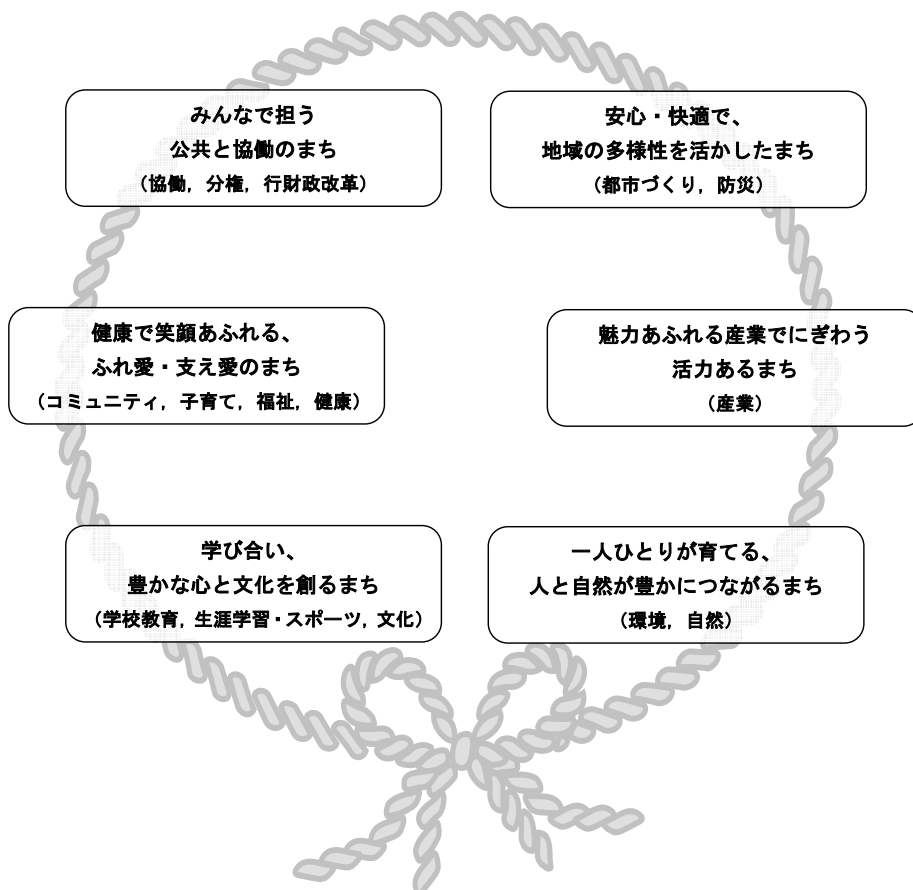
「人とひと、人と自然が響き合い、みんなで幸せを紡ぐまち八王子」

私たちのまち八王子は、高尾・陣馬の山並みや、清らかな湧水を集めて流れる浅川の清流、美しい夕焼けの風景など、やさしさとうるおいのある自然にいだかれた故郷です。また、古くから交通の要衝として多彩な人々が交流し、賑わいの中で先人たちの知恵が響き合って形成されたまちです。

自然と歴史に恵まれたこのまちの魅力を次世代へ引き継ぎ、持続可能な社会を創造するとともに、人々が支え合いながら信頼の絆で結びつき、生きる喜びと幸せを感じられる八王子を実現していきたいとの思いから、この基本理念を定めました。

2. 私たちが目指すまち

私たちは基本理念を実現するために、市民の生活を6つの分野に分けて、目指すまちの姿を考えました。これらの具体的提案は、各論に示す提言シートに盛り込みました。



3. 基本理念の検討に当たり重視したこと

平成15(2003)年のゆめおりプラン施行から、もうすぐ10年が経ちます。この間、私たちを取り巻く環境は大きく変化しています。地球温暖化の進行や、テロ・金融危機など国際情勢の混迷に加え、国内では経済成長の停滞、労働環境の悪化、将来への漠然とした不安……。また、人々のつながりは薄れ、コミュニティの崩壊が広がり、「格差社会」「無縁社会」などという寂しい言葉も生まれました。

このような状況のなか、次の10年の基本構想・基本計画の素案を検討する市民会議は始まりました。そして、会議が動き出して間もなかった3月11日、東日本大震災が発生し、それに続く福島第一原子力発電所の事故や計画停電。当たり前だった日常は大きく揺らぎ、人々にとって価値観や人生観を真剣に問い直す契機となりました。

これらのことを踏まえて、基本理念の検討に当たっては以下のことを重視しました。

■ 幸せを実感できるまちを目指して

「幸せ」の感じ方は人それぞれ異なると思います。けれども、私たちは今回の震災をひとつの契機として、幸せのかたちを問い直すことが必要と考えました。

家族や地域が支え合い信頼の絆で結ばれ、多様な生き方が選択でき、生きがいのもてる仕事をし、安心して暮らしていくことで、だれもが幸せを感じるまちを目指すこととしました。

■ 新たな協働に向けて

私たちが信頼の絆でつながり支え合う社会を実現するためには、行政だけに依存するのではなく、私たち市民も当事者として協働の場に参加することが望まれます。市民や町会・自治会、市民活動団体、企業、大学、行政などがそれぞれの役割をもって、自分たちこそ社会をつくる主体であるという思いと責任をもち協働することが大切と考えました。

住民自治を進めていくために、まちづくりの主役である市民一人ひとりが、夢をもって学び、そして、学んだ成果を次世代育成支援や地域福祉などの課題解決に活かしていく市民像を描きました。

■ 持続可能な社会の創造に向けて

私たちは、八王子の豊かな美しい自然を享受しながら、自然の脅威にも向き合い、人と自然が共生する持続可能な社会をつくることが大切と考えました。

限りある資源の有効活用、農産物やエネルギーの地産地消、自然を活かした観光の振興、付加価値の高い産業の創出、災害に強いまちづくりなど、人々が安心して暮らせる持続可能な社会を目指すこととしました。

